

News Release

2020年3月26日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

ついうっかりでガス漏れ・引火の事故が！ ～ガス栓の接続を点検しましょう～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で2009年度から2018年度の10年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{*1}では、ガス供給器具(ガス栓、ソケット及びゴム管・ガスコード)の製品事故は、10件^{*2}ありました。

被害状況は軽傷1件(1名)、拡大被害7件、製品破損2件です。事故原因は誤使用や不注意によるものが半数の5件ありました。

表1 ガス供給器具の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2009年度	0	0	0	0	1	0	1
2010年度	0	0	0	0	0	0	0
2011年度	0	0	0	1	0	0	1
2012年度	0	0	0	0	0	0	0
2013年度	0	0	0	0	0	0	0
2014年度	1	0	2	0	0	1	4
2015年度	0	0	0	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0	0	2	2
2017年度	0	0	0	0	1	0	1
2018年度	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	0	3	1	2	3	10

ガス供給器具



表2 ガス供給器具の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県							合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
死亡	0	0	0	0	0	0	0	
重傷	0	0	0	0	0	0	0	
軽傷	0	0	1	0	0	0	1	
拡大被害	1	0	2	0	2	2	7	
製品破損	0	0	0	1	0	1	2	
被害なし	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1	0	3	1	2	3	10	

表3 ガス供給器具の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県							合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0	
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0	
	C:経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0	
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0	0	
製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0	
	E:誤使用や不注意によるもの	0	0	2	0	1	2	5	
	F:その他製品に起因しないもの	1	0	1	1	0	0	3	
G1、G2:原因不明のもの		0	0	0	0	0	1	1	
H:調査中のもの		0	0	0	0	1	0	1	
合計		1	0	3	1	2	3	10	

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

2. 主な事故事例

○2019年3月7日（宮城県、年齢不明女性、使用期間不明、拡大被害）

事故内容:ガスこんろを使用中、接続ソケット付近から火が出て、周辺を焼損した。

事故原因:ガス栓に取り付けられた事故品の接続シール部に油状の異物が固着していたことから、シール不足でガスが漏洩し、滞留した未燃ガスにこんろバーナーの炎が引火して接続部付近を焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「先端や内部に傷がついたり、異物が付着しないように丁寧に清潔に取り扱う。」旨、記載されている。

○2017年7月27日（山形県、年齢性別不明、使用期間不明、拡大被害）

事故内容:飲食店でガスコードにガス栓及びガスレンジを接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:ガスコードは、ガス栓と接続不完全な状態で使用されたことで接続部より微量に漏えいしたガスに周辺の火種が引火して出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ソケット本体を持ち「カチッ」と音がするまで差し込む。摺動環がとび出してマーキング線が見えることを確認する。誤って接続すると、ガス漏れの原因になる。」旨、記載されている。

○2016年9月14日（福島県、90歳代女性、使用期間不明、拡大被害）

事故内容:ガス栓に接続したガスこんろを使用中、ガス栓及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:使用者が誤って不使用側のガス栓を半開したため、過流出安全機構が作動しない程度のガスが漏えいし、その後ガスこんろを点火した際、漏えいしたガスにガスこんろの火が引火したものと推定される。

○2015年1月14日（宮城県、40歳代男性、使用期間約3年6ヶ月、軽傷）

事故内容:施設で、鳴動しているガス警報器を停止させ、石油温風暖房機を点火したところ、爆発が発生し、建物の一部を破損し、1名が軽傷を負った。

事故原因:右側のガス栓が、つまみや押し回しバネなどが分解により外されていたため、使用者が右側ガス栓を開けた際にガス栓上部からガスが漏れ出し、石油温風暖房機を点火した際に、滞留していたガスに引火して爆発したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

○2014年10月4日（青森県、80歳代女性、使用期間約6ヶ月、拡大被害）

事故内容:ゴム管に接続しているガスこんろを使用したところ、ガスこんろ等を焼損する火災が発生した。

事故原因:ゴム管の中心部にネズミが噛んだような穴が空いており、ネズミがかじったことにより、ガスが漏洩し、使用中のガスこんろの火に引火して出火したものと推定される。

3. ガス供給器具の事故の実験映像について

ガス供給器具の事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

ガス供給器具はタイプが色々あります！

ガス栓からガス機器をつなぐ為には、ガス栓側のタイプ／ガスコードやゴム管などの接続具のタイプ／ガス機器側のタイプ（形状）の違いなどに注意しないといけません
ゴム管も都市ガス用、LP ガス用があります。

ガス栓がコンセント型の場合、ガスコードを差込むと、「カチッ」と音がして差し込まれたか否かの判断ができます。
逆に言うと、「カチッ」と音がしないと十分に差し込まれていないこととなります。

正しく接続して、事故なく安全に使用しましょうネ (^0^)

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ

YouTube
公式チャンネル

Twitter
公式アカウント

